

単元名：メラメラパチパチ 私の焚火

「自分の焚火に火を起こそう」

(全3時間扱い中 第3時)

授業日時 令和3年11月11日(木) 第2校時

授業学級 3年2組

授業会場 3年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立てとねらい)

みんなと自分の違いに不安を感じ、正解を探してしまい、自分の気持ちや感覚を表に出せないでいる子どもたちが、表したいものによって色や形を変えた炎を見て、自分が表したい炎は何なのかを考えながら工作をすることを通して、様々な素材に触れている中で作品の可能性が広がっていくことや、思いや願いを自由に形にすることのおもしろさに気づき、楽しみながら“私のたき火”をつくることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. たき火を見て思う気持ち、感じるものと、その表現の例の提示	「ほんとに火つけるの？」 「毛糸使いたい！」 「早くやりたい！」 「カラフルだ」 「メラメラってそういうこと？」 「変な感じ」 「わっかがいっぱい」 「モールを使っているの？」 「火っていう感じがしない」 「確かにそういう感じがするかも」	「みんな今日はついにその薪組に『火』をつけていくよ」 「焚火の“メラメラパチパチ”にどんなことを想像するか、みんなに前回考えてもらったよね。今日はそれをいろいろなものを使って形にしていこう」 ※スライド表示 「焚火を想像したとき、こんな気持ちが生まれたから、どうやって表現しようかなって考えて、こんな風に作ってみたいよ。これはこんなことを表したかったよ。」※焚火の画像の表示から先生の例の表示	5
	2. たき火からどんなことを感じるか考えてみよう	「“メラメラ”って、強く火が燃えている感じ」 「“パチパチ”ってのはじけている感じかな」 「キラキラとか！」 「どんな感じかな、難しい」 「わからない」 「んー、、、」	「みんなは前回、“メラメラパチパチ”からこんなことを想像したね」 ※スライドに前回の振り返りを紹介 「みんなは焚火の“メラメラパチパチ”にどんなことを想像するかな？どんなことを感じるかな。今からもう一度考えてみよう」 「目をつぶって、静かな心で、想像しながら考えてみよう。今から始めるよ。」 ※30秒くらい目を閉じて考える。このときに素材をロッカー前に準備 「さあ、どんなことを想像したかな」	5
	【学習課題】 自分の考える炎を、どうやって表現して自分の薪組の中にもせるだろう。			

展開	3. 素材に触れて、選ぼう	<p>「いっぱいある！」</p> <p>「何を使ってもいいの？」</p> <p>「私はこれにする！」</p> <p>「これ何？」</p>	<p>「ここにたくさんの材料を用意したよ。今日を閉じて想像したことをどんな風に使ったら、その薪組にともせるかな？」</p> <p>「実際に触って、選んでみよう。」</p>	10
	4. 選んだ素材を使って火をともしよう	<p>「こういうのを考えたけど、表現するのが難しい」</p> <p>「どうやればくつつくかな」</p> <p>「先生見て！！」</p> <p>「ここがメラメラだよ」</p>	<p>「選んだ素材で火をともしよう！」</p> <p>「どうやったらできるかな」</p> <p>「自分の想像した“メラメラパチパチ”ってどんなものだったかな？」</p> <p>「もっとこうしたい！というのがあったらまた材料とりにきていいよ」</p> <p>「〇〇さんにとっての“メラメラパチパチ”って、こういうことなのだね」</p> <p>「たしかにここがメラメラに見えるね」</p> <p>※“メラメラパチパチ”について問い返す</p>	20
終末	5. 振り返り	<p>「楽しかった」</p> <p>「難しかった」</p> <p>「メラメラパチパチになったかな」</p> <p>「私はこんな感じ！」</p>	<p>「自分がどんな素材を使ったかな？どうして使ったのかな？プリントに書いてみよう」</p> <p>「どんなことを考えながら火をともしたのかも書いてみよう」</p> <p>「先生に教えてね」</p>	5

【評価(対象)】自分にとっての“メラメラパチパチ”に思いを巡らせて、表現しようとする事ができる